

中央市議会 だより



実り豊かな
生活文化都市

<http://www.city.chuo.yamanashi.jp>

No.27

平成24年12月1日発行

秋の楽しみいろいろ!!



12月定例会の予定・・・P17

9月定例会で決まったこと・・・P2
審議結果・・・・・・・・・・・・P9
市長の行政報告・・・・・・・・P10
一般質問に6議員・・・・・・・・P11
委員会レポート・・・・・・・・P14
市民の談話室・編集後記・・・P18

より財政状況は一步前進!!

9月定例会が、9月4日から20日までの17日間の会期で開催されました。
平成23年度一般会計・特別会計・企業会計の歳入歳出決算の認定12件
条例改正2件、補正予算9件など合わせて26議案が審議されました。



平成23年度で終了した医大南部土地区画整理事業

特別会計、企業会計11会計を認定

会計名		歳入	歳出	差引
国民健康保険特別会計		30億5,679万円	29億2,349万円	1億3,330万円
後期高齢者医療特別会計		1億8,097万円	1億8,027万円	70万円
介護保険特別会計		15億5,993万円	15億5,054万円	939万円
地域包括支援センター特別会計		2,614万円	2,614万円	0
簡易水道事業特別会計		1億7,498万円	1億6,454万円	1,044万円
下水道事業特別会計		11億2,449万円	10億7,789万円	4,660万円
農業集落排水事業特別会計		2億4,528万円	2億3,761万円	767万円
田富よし原処理センター事業特別会計		1億1,220万円	5,208万円	6,012万円
土地区画整理事業特別会計		5億3,485万円	5億3,473万円	12万円
工業用地整備事業特別会計		3,958万円	3,958万円	0
上水道事業会計	収益的収支	2億5,137万円	2億4,740万円	——
	資本的収支	4,480万円	1億7,159万円	——

(1万円未満は四捨五入しています)

特別会計の借金と貯金の状況は？

市債の23年度末現在額 **125億6,297万円**

基金の23年度末現在額 **2億2,795万円**

平成23年度
決算概要

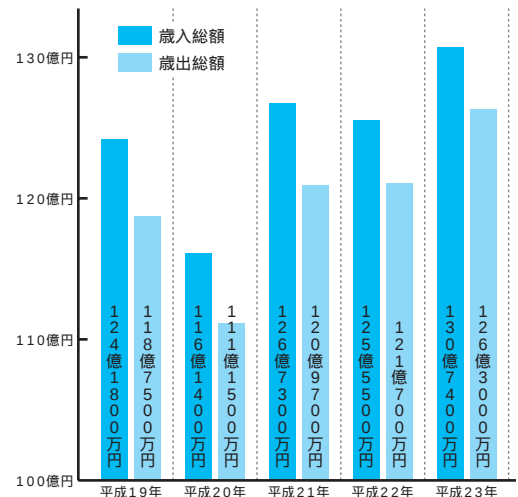
区画整理事業終結に

一般会計は歳出126億2,967万円を認定

一般会計決算の状況

収 入(入った金額)	130億7,420万円
支 出(使った金額)	126億2,967万円
繰越金(翌年度へ繰り越した金額)	3,866万円
実質収支(残った金額)	4億587万円

過去5年間の決算額の推移



一般会計の借金と貯金の状況は？

市債の23年度末現在額 137億9,971万円

基金の23年度末現在額 44億8,646万円

平成23年度のおもな事業

- 行財政改革推進事業
- 防災用非常食・保存用飲料水購入事業
アルファ米、飲料水
- 三村小屋内運動場改築工事
- 住宅用太陽光発電助成事業
- 総合相談自立支援事業
玉穂庁舎1階に総合相談センターを開設
- 生活保護扶助事業
- 予防接種事業
子宮頸がん、ピブ、小児用肺炎球菌など
- 緊急雇用創出事業
- JR東花輪駅前整備事業
- 市道田富西通り線道路建設事業



防災用アルファ米や保存用飲料水が保管されている
備蓄倉庫(田富コミュニティー防災センター)

財政健全化判断比率

4指標でクリア！

前年度比

実質公債費比率は0.4%改善

4つの指標のうち、一般財源に対する借金返済額の割合を示す「実質公債費比率」が前年度比0.4ポイント改善して14.2%になりました。

市町村が収入や貯金に対し、将来返済しなければならない負債額の割合を示す将来負担比率についても8.5ポイント改善。

また、6つの特別会計・企業会計の資金不足比率では、おおむね良好の結果となりました。

23年度 財政健全化判断比率

健全化判断比率	平成23年度	平成22年度	早期健全化基準
実質赤字比率	— (5.01%)	— (4.78%)	H22 13.69% H23 13.71%
連結実質赤字比率	— (15.26%)	— (18.04%)	H22 18.69% H23 18.71%
実質公債費比率	14.2%	14.6%	25.0%
将来負担比率	63.9%	72.4%	350.0%

23年度 資金不足比率

特別会計	平成23年度	平成22年度	経営健全化基準
上水道事業会計	— (294.8%)	— (296.8%)	20.0%
簡易水道事業特別会計	— (11.5%)	— (2.4%)	20.0%
下水道事業特別会計	— (18.2%)	— (14.7%)	20.0%
農業集落排水事業特別会計	— (21.1%)	— (47.4%)	20.0%
土地区画整理事業特別会計	— (100.0%)	— (62.3%)	20.0%
工業用地整備事業特別会計	— (7.0%)	— (5.3%)	20.0%

—は、黒字を表し、カッコ内は参考数字である。

地方公共団体の財政の健全化に関する法律とは？

地方公共団体は、この法律の成立により毎年度、健全化判断比率等を監査委員が審査し議会に報告して公表することが義務づけられました。

従前の財政再建法(昭和30年公布)では再建団体の基準しかなく、早期是正機能がなかったことから、財政破綻の未然防止として「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「実質公債費比率」「将来負担比率」および公営企業会計における「資金不足比率」の各指標を算定し、早期健全化基準を1つでも超えた場合は『早期健全化団体』に移行し、財政健全化計画の策定や外部監査が義務づけられます。財政がさらに悪化し「財政再生団体」に移行すると国の関与がより強まることとなりました。

平成24年度 一般会計の補正予算

3億4,051万円を追加
総額 114億90万円に

今回の主な補正予算は

保育所緊急整備事業、土地改良施設基盤整備事業などを予算化しました

● 住民基本台帳ネットワークシステム機器更新業務委託費 572万3千円

● 保育所緊急整備事業補助金 6,098万円

・ まみい保育園施設増築費

(施設増築費のうち、安心こども基金を活用して
 (国から50%、市が25%、残り25%を設置者が負担)

安心こども基金とは...

国からの交付金を財源に県が基金を造成して、ひとり親へのサポートや保育所の整備などを行う基金のこと。



まみい保育園

● 不活化ポリオワクチン接種委託費 1,315万円

● 住宅用太陽光発電システム設置費補助金(70件分) 1,050万円

● 土地改良施設基盤整備事業 1,127万円

・ 藤巻地区の鋼製スライドゲート設置工事等

特別会計の補正予算

● 国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
 5,689万3千円を追加し、31億3,454万9千円

● 後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
 154万2千円を追加し、2億468万6千円

● 介護保険特別会計補正予算(第1号)
 351万1千円を追加し、16億5,739万9千円

● 簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)
 114万9千円を追加し、1億5,312万9千円

● 下水道事業特別会計補正予算(第1号)
 3,131万3千円を追加し、12億6,422万7千円

● 農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)
 147万5千円を追加し、2億5,027万3千円

● 田富よし原処理センター事業特別会計補正予算(第1号)
 311万2千円を追加し、6,473万円

● 上水道事業会計補正予算(第1号)
 164万5千円を補正し、3億110万2千円

下水道料金が

平成25年4月より

一部変わります!!

1

下水道使用料条例の改正

玉穂地区・田富地区ごとに異なる料金表を中央市の区域として一本化しました。

2

農業集落排水処理施設条例の改正

豊富地区では定額制から使用水量による従量制へ変更しました。

新料金体系

区 分	排水量（1カ月につき）	使 用 料
一 般 用	10立方mまで	840円
	10立方mを超え30立方mまで	1立方mにつき 105円
	30立方mを超え50立方mまで	1立方mにつき 126円
	50立方mを超えるもの	1立方mにつき 147円
公衆浴場用		1立方mにつき 63円
臨 時 用		1立方mにつき 136円

3

甲府市と中央市との間における公共下水道使用料徴収事務の委託に関する規約の制定

旧玉穂地区の下水道使用料を甲府市上下水道局へ徴収事務を委託するための規約を新たに制定しました。

納付時期

	現 行		変 更 後
玉穂地区	隔月(年6回【偶数月】)	玉穂地区	隔月(年6回【奇数月】)
田富地区	毎月(年12回【各月毎】)	田富地区	
豊富地区		豊富地区	

その他

- * 山梨県後期高齢者医療広域連合規約について変更しました。
- * ひとり親家庭医療費助成金支給条例を改正しました。

請願審査の結果

30人以下学級実現、義務教育費 国庫負担制度拡充を図るための請願書

採択

請願者

中央市PTA協議会	会 長	比留間一弥
中央市公立小中学校長会	会 長	出井 寛
中央市公立小中学校教頭会	会 長	内藤 和久
山梨県教職員組合中巨摩支部	執行委員長	佐野 良

紹介議員

小池 満男

審議結果

採択（全会一致）

意見書の提出

請願採択により9月20日、議会から国へ意見書を提出。

提出議員

伊藤 公夫

賛成議員

設楽 愛子 小池 章治

要 旨

1. 少人数学級を推進すること。具体的学級規模は、OECD諸国並みのゆたかな教育環境を整備するため30人以下学級とすること。
2. 教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度の堅持とともに国負担割合を2分の1に復元すること。
3. 教育条件の格差解消を図るため、地方交付税を含む国における教育予算を拡充すること。

提 出 先

内閣総理大臣、内閣官房長官、文部科学大臣ほか

意見書とは？

議会は国や関係機関などに対し、制度改善の要望など、議会としての意思をまとめた文書を提出することができます。

人 事

教育委員会委員の選任

教育委員会委員1名が平成24年7月18日をもって辞職したことにもない、笹本昇氏の選任に対して同意しました。



笹本 昇

平成24年9月定例会審議結果

○賛成 ●反対 ー欠席（田中健夫議長を除く）

種 別	案件名	議長	副議長	中央フォーラム										市民クラブ		公明党		日本共産党	結 果
		田中健夫	福田清美	田中一臣	大沼芳樹	保坂武	小沢治	石原芳次	伊藤公夫	名執義高	河西茂	小池章治	小池満男	山村一	井口貢	設楽愛子	田中輝美	木下友貴	
専決処分	・専決処分の承認を求める件 （中央市ひとり親家庭医療費助成金支給条例中改正の件）			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
条例改正	・下水道使用料条例中改正の件			○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	・農業集落排水処理施設条例中改正の件																		
平成24年度補正予算	・一般会計補正予算（第2号）																	可決	
	・国民健康保険特別会計補正予算（第2号）																		
	・後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）																		
	・介護保険特別会計補正予算（第1号）																		
	・簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）		○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	・下水道事業特別会計補正予算（第1号）																		
	・農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）																		
	・田富よし原処理センター事業特別会計補正予算（第1号）																		
・上水道事業会計補正予算（第1号）																			
平成23年度決算認定	・一般会計歳入歳出決算認定																	認定	
	・国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定																		
	・後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定																		
	・介護保険特別会計歳入歳出決算認定																		
	・地域包括支援センター特別会計歳入歳出決算認定																		
	・簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定		○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	・下水道事業特別会計歳入歳出決算認定																		
	・農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定																		
	・田富よし原処理センター事業特別会計歳入歳出決算認定																		
	・土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定																		
	・工業用地整備事業特別会計歳入歳出決算認定																		
	・上水道事業会計決算認定																		
その他	・甲府市と中央市との間における公共下水道使用料徴収事務の委託に関する規約の制定の件		○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	・山梨県後期高齢者医療広域連合規約の変更の件																		
人事	・教育委員会委員の任命について同意を求める件		○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意	
請願審査	・30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願書		○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択	
意見書	・30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充を図るための意見書		○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	

市長の

行政報告

9月
定例会

中央市長 田中久雄

地域の連携を図りながら

自主防災会の育成に 力を注いでいきます!



総合防災訓練（田富中）

各施策の進行状況

障がい者虐待防止 センターの開設

本年5月に開設した「障がい者相談支援センター」内に、障がい者の虐待に関する相談、通報等の窓口とした「障がい者虐待防止センター」を開設します。

中国四川省都江堰市 中学生との交流

5年ぶりに中国都江堰市内中学生16人が、7月9日〜10日に本市を訪れ、田富・玉穂両中学生と交流し、互いの異文化にふれあいながら友好を深めました。

中学生 海外語学研修

8月6日から13日間、オーストラリア・ケアンズ市において実施されました。研修報告会で生徒達の感想を聞き、国際性豊かでたくましく生きる

子どもたちの育成に、効果があるものと信じています。

小中学校 エアコン設置事業

市内8小中学校・115の普通教室等へ設置を予定したエアコン（氷蓄熱式）の工事が夏休みを利用して、無事終了しました。

リニア中央新幹線 甲府駅西部沿線地域 活性化対策協議会

中央市・南アルプス市・富士川町の沿線地域が駅周辺の開発や駅へのアクセス網の充実など沿線地域活性化や環境整備に向けて、連携し、取り組むことを目的に設立され、8月に知事に要望書を提出しました。



都江堰市内中学生と一緒に給食を食べる田富中の生徒

A **Q**

健康寿命増進の取り組みは

生活習慣病予防等の
健康増進に努める

河西 茂 議員

河西議員 健康増進事業、介護予防事業の成果と今後の計画は。

山梨大学医学部および付属病院との連携による成果は。

市長 健康づくりと疾病の予防、早期発見・早期治療に主眼を置いた効果的な対策を実施することにより、市民一人ひとりの健康の保持と増進、健康寿命の延伸に努めてまいりたい。

保健福祉部長 将来的に生活習慣病や要介護者の減少、ひいては医療費等の減少が期待できる。第二次中央市健康増進計画の策定に向け準備中。参加者の多くに改善が見られ、生活習慣病予防のための大きな一歩になった。

河西議員 法定雇用率アップに伴う市の取り組みは。

障がい者相談支援センターの相談内容と改善点を。働きたい障がい者に就業希望相談カードの発行を。

総務部長 職務遂行可能な業務を先進市等の事例を参考に早期達成に鋭意努力する。

保健福祉部長 開設以来、福祉サービスに関すること等の多くの相談を受けている。活動の場、働く場等の基盤を整備していくことが課題。

ハローワークのジョブ・カード制度を活用したい。

【関連質問】
▼名執義高議員「障がい者雇用について」

Q

政治結社による
街宣活動について

A

条例違反には該当しない事例

小池 満男 議員

総務部長 政治結社による街宣活動は、政治目的の実現のための集団として、県選挙管理委員会に届け出をしてある団体が、所轄の警察署に申請を出しているものであり、市の暴力団排除条例の対象とはならない。

街宣活動による騒音等については、所轄の警察署の許可により行動をしており、山梨県拡声器に関する条例に基づき、警察署において対応している。

小池議員 政治結社による街宣活動の騒音は、市民として聞くに堪えない騒音であり、大変迷惑な一面もありました。

本年第2回議会に議案第44号として提出され、採決された暴力団排除条例を、実効性のある条例にするために、厳格な対応を強く望みます。

街宣活動は、条例違反に該当しないか。騒音等に対応する方策はないのか。



質問の内容の詳細については市ホームページをご参照ください。

<http://www.city.chuo.gamanashi.jp>

Q 赤ちゃんからお年寄りまで 壁のない地域福祉について A それぞれの立場における バランスの取れた改革が必要

名執 義高 議員

名執議員 高齢者福祉
基礎調査の結果は、
第5期介護保険事業計
画は、「宅老所」の普及啓発は、
先進自治体に習う、自
治会のあり方は、
市長 市民活動と行政
はパートナーの関係が望
ましい。自治会活動を応
援する仕組みとして、他
自治体の例などを参考に
検討していく。
保健福祉部長 県内で
3番目に若い自治体だが、

確実に高齢化が進んでい
る。
地域支援事業の強化を
図り、時代に則した予防
事業を展開していきたい。
事業・サービスの体系
は、固定化することなく
今後の状況を見守ってい
きたい。
名執議員 リバーの下
水道管渠移管問題の進捗
状況は、
テレビカメラ調査の結
果は、
不明水の原因究明は、
今後の補修計画と費用
負担は、



糸の紡ぎ方を教わる子供たち

市長 テレビカメラ調
査映像と損傷箇所等のデ
ータを審議会へ示した。
流通センター・トラッ
クターミナル内の管渠の
ダメージが顕著。住宅街
には目立った損傷が少な
い。
降雨時等、管の継目や
亀裂からの浸水が想定さ
れる。

Q 成年後見人制度について A 利用の拡充が必要と考える

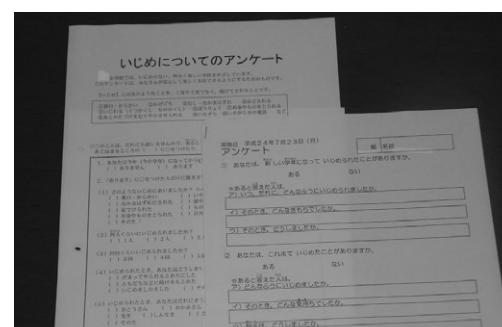
設楽 愛子 議員

設楽議員 本市の利用
状況は、
後見人の養成
は、
保健福祉部長 現在、
成年後見人制度の利用者
は14人。司法書士、行
政書士等の専門家と連携
し対応しているが、社協
等とともに後見人養成、
仕組みづくりについて検
討したい。
設楽議員 子宮がん検
診に、細胞診とHPV検

移管に向け、具体的な
修繕計画の策定のため、
委託料を今議会に計上し
た。

【関連質問】
▼小池章治議員「よし原処
理センター事業について」

査の併用を。
ピロリ菌ABCリスク
検査の導入を。
「こころの体温計」の
サービス導入は、
心の健康セミナーの開
催状況は、
いじめに対するアンケ
ートについて。
子どもにがん教育を。
市長 25年度から導入
を計画、準備している。
厚生労働省の研究、動



市内小学校アンケート実施

向を注視し対応したい。
保健福祉部長 導入に
は各種検証が必要。現在
実施している、心の健康
度評価を継続させる。
研修会、講習会、健康
教室で開催している。
教育次長 いじめの起
こらない学校づくりを進
めるとともに、迅速・適
切な対応を指導する。
健康と命の大切さにつ
いて学び、生活習慣病の
予防・定期的な検査が必
要なことなどを学習して
いる。
【関連質問】
▼名執義高議員「いじめ問
題における地域の関わりに
ついて」

防災・減災対策は

橋梁、学校については早急に対応

田中 輝美 議員

田中議員 橋梁の長寿命化の進捗状況は。住民の孤立化が予想される危険箇所は。学校施設における非構造部材の耐震点検は。

建設部長 143橋梁のうち59の点検を終了。今年度、残りも完了予定。26年度以降順次改修する。迂回路の確保等で孤立化の危険箇所はないと考えている。

教育次長 本年度、市



自動交付機（市役所田富庁舎）

の単独事業として、校舎内避難経路の窓ガラス飛散防止工事を実施する。屋内運動場の吊天井の落下防止対策等も検討する。
田中議員 高齢者肺炎球菌ワクチンの接種助成について。
市長 25年度を目途に、ワクチン接種の実施に向けて準備を進めている。
田中議員 コンビニにおける証明書等の交付について。
市長 合併当初からの稼働の自動交付機入替、運用方法と併せ、検討を継続していく。

【関連質問】

▼名執義高議員「防災・減災における市内の危険箇所の把握について」
▼小池章治議員「大河川の危険箇所の点検について」

就学援助制度の改善を

支給要綱により適正に助成

木下 友貴 議員



木下議員 小中学生のいる世帯のうち、住民税非課税の世帯数と就学援助を受けている世帯数はお金の受取方法等はプライバシーに配慮しているか。

入学準備や修学旅行時には支給を早める必要があると考えるが。
部活動費、生徒会費、PTA会費への支給は。資産調査は不要と考えるが、本市の現状は。

教育次長 非課税世帯が24年度、159世帯でそのうち就学援助をうけているのは、112世帯。すべて口座振込み払い。6月1日の所得確定後に支給の決定。入学準備金はその後に支給する。修学旅行費は学校で清算後に実費を支給。部活動費の一部は学校振興費から支給。資産調査は行っていない。

木下議員 公営住宅入居待機世帯数と解消策は。
建設部長 8月末、布施団地40件、久保団地6件、山宮団地4件、神明団地15件、合計65件だが、転出等で実質は46件と推計。建替え等で新規入居が可能となることから待機者の解消につなげたい。

木下議員 国民健康保険財政調整基金は変動が激しい理由は。また国保財政の今後の見通しは。
市民部長 今後の財政運営のために借入をし、余剰金を積立てたが、税率引き上げ後も財源不足が

生じたため取崩した。低所得者や高齢者の加入割合が高く、医療の高度化、経済も低迷し健全運営は困難な状況。

【関連質問】

▼小池満男議員「市営住宅建て替えにおける入居者の優先順位について」



建て替えが検討されている市営町之田団地

総務教育常任委員会

審査ポイント

Jアラートの作動状況は

▼平成24年度一般会計補正予算(第2号)

総務課

問 行政事務電算化事業費について、住基ネットワークシステムの更改には機器の入れ替えを含むのか。

答 システム改修にあわせて機器も入れ替える。

問 機器の入れ替えに係る費用は、リース料や備品購入費にするべきでは。

答 この事業は、機器を入れ替え、システムを改修し、データの移行から稼働までの全ての更改業務を行うため、委託料に計上した。

▼平成23年度一般会計歳入歳出決算認定

総務課

問 人事評価制度について、現状と今後の予定および管理職に対する評価結果は。

答 23年度から管理職以上、24年度からはリーダー以上を対象に試行導入し、25年度以降は一般職員まで試行導入を

拡大していきたい。この制度の導入により、管理職としての業務管理能力が向上するなど一定の成果があった。

危機管理室

問 全国瞬時警報システム(Jアラート)は、どのような条件で作動するのか。

答 地震の最大震度が5弱以上で、かつ中央市で震度4以上のゆれが予測される場合に作動する。情報は総務省より自動的に配信される。

管財課

問 土地開発基金について、立替金の内容と今後の回収は。

答 上成島公会堂の用地取得の立て替えで、今後の回収は、調査し適正に対応する。

問 土地開発基金で取得した神明団地の売却処理は。

答 土地開発基金で先行取得した土地なので、一般会計で買い戻す必要がある。未売却区画も含め、今年度末には売却収入も充当しながら一般会計で買い戻す。

厚生常任委員会

審査ポイント

高額療養費の関係申請について被保険者への対応は

▼平成23年度一般会計歳入歳出決算認定

環境課

問 一般廃棄物収集運搬業務委託料増の内容は。

答 可燃ごみの収集量が前年度に比べ229・81トン増えた。可燃ごみは1kgあたりの収集運搬費が決まっているのでその増加分。

福祉課

問 生活保護について、申請時のチェックは。

答 本人の聞き取り、援助者の確認、預貯金及び資産の確認をしている。生活保護の決定後も親族等へ援助の確認をおこなっている。

▼平成23年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定

保険課

問 高額療養費について、年々対象者が増えているが限度額認定適用書の申請を知らない

被保険者への対応と今後の見通しは。

答 制度については、広報やホームページなどで広く周知する。

今後の見通しであるが、医療費が年々増加している一方で保険税は伸びず、国保財政は厳しい状況にある。ジェネリック薬品の推奨、健診を強化するなど医療費の抑制を図るとともに、国保税の徴収率向上に努めていく。



認定こども園について説明を受ける委員
(みかさ保育園)

産業土木常任委員会

審査ポイント

使用料の改定による一般家庭の負担は

▼農業集落排水処理施設条例の改正
下水道課

問 農業集落排水処理施設使用料改定に伴い、田富よし原処理センター使用料はどうなっているのか。

答 田富よし原処理センター審議会を中心として、先ずは管渠の移管を前提に、平行して料金設定についても検討していく。

問 使用料の改定により一般家庭の負担はどのように変わるのか。

答 現行の使用料は、戸数・人口割で算出し4人家族で月3,001円。改定すると使用水量によって変わる。例えば同じ4人家族で月24^m使用する世帯では、月2,310円で、年間8,292円安くなる。

また、4人家族で月36^m使用する世帯では月3,696

円で、年間8,340円高くなる。

▼平成23年度上水道事業会計決算認定
水道課

問 給水収益について、徴収率が低い要因は。

答 徴収率の向上に努め、前年度より改善されている。昨今の社会経済状況から大幅な改善は難しい状況にある。



JR東花輪駅前整備事業の進捗状況の説明を聞く委員

現 地 視 察 報 告

小中学校エアコン設置事業を視察

総務教育常任委員会では9月11日田富北小学校を訪れ、エアコンの設置状況について現地視察を行いました。エアコンは消費電力が一番安い深夜電力を利用した氷蓄熱式を採用したもので、小中学生が夏休み中の期間を利用して工事が完了しました。市内小中学校には115台設置され、児童は快適に授業を受けることができていると報告を受けました。



エアコンが設置され快適に授業を受ける児童(田富北小学校)

認定こども園の運営状況を視察

9月13日厚生常任委員会は「認定こども園」の整備状況について市内の私立保育園、幼稚園3ヶ所を視察しました。教育方法や認定までの経過等について担当職員から説明を受けました。幼保一元化を推進するなかで本市における幼児教育についての課題も確認できました。

JR東花輪駅前整備事業、田富西通り線の進捗状況を視察

産業土木常任委員会は、9月18日JR東花輪駅前整備事業、田富西通り線を現地視察しました。

市の担当者から、今後の事業計画などについて、説明を受けました。

閉会中の常任委員会調査・研究報告

総務教育常任委員会

▼日時 平成24年10月25日（木）午前9時30分

▼テーマ 総合計画前期期間の取り組み状況
及び成果について



10月25日、総務教育常任委員会では、総合計画前期期間について、政策秘書課の説明を受け、検証及び協議を行いました。
市では、将来像「実り豊かな生

活文化都市」を目指し、平成20年度から29年度の10年間を計画期間とする「第1次中央市長期総合計画」に基づき、各種施策を展開してきました。

「後期基本計画」策定に当たっての住民アンケートでは、市民が望む姿、主な取り組みに対する重要度では「保健・医療・福祉の施設や制度の充実」が89・7%。防災体制の充実が89・2%、「高齢者、障がい者の福祉充実」88・5%と非常に高い結果でありました。住民アンケートを重視するなかで後期基本計画が策定され、総合計画審議委員17名で協議を重ねており、今後修正項目の確認等を行い、来年2月審議委員から答申をいただき決定する予定となっております。市議会としても今後検証を重ねていきたいと考えています。

産業土木常任委員会

▼日時 平成24年10月26日（金）午前9時30分

▼テーマ 田富よし原処理センター事業の課題

産業土木常任委員会では、田富よし原処理センター事業についての研究会を行いました。

田富よし原処理センター事業で処理をしているリバーサイドタウン、流通団地、トラックターミナルの範囲の下水管は民間の持ち物です。そのため現在は、震災などで下水管が破損した場合、市の予算で復旧することが難しい状況にあります。そのため市に移管をしようとする関係者で審議会を作り、審議していますが、様々な困難を抱えている状況です。

研究会では担当者から、事業の概要やこれまでの経緯を聞いた後に下水管のビデオ調査の映像を見て、下水管の損傷箇所や地下水が管に流入している様子などを確認しました。

その後、これからの計画などに



ついて意見交換をしました。意見交換では修繕にいくらかかるのかを今見積もっていること、住民への丁寧な説明や対話が必要だということ、慎重にしかし早期に進めなければいけないことなどが出されました。

議員視察受け入れ

岩手県九戸村議会

10月25日(木)岩手県九戸村議会議員と事務局18名が「農事組合法人た・から」について、視察に訪れました。

市議会を代表して福田副議長が歓迎の挨拶をした後、市及び市議会についての概要を説明しました。その後、た・からを訪れ、冬野菜の販売方法などについての意見交換が交わされました。



岩手県九戸村って？



岩手県の北部に位置し、戦国武将九戸政實公ゆかりの九戸神社が有名。

12月定例会の予定

12月定例会は次のとおりの予定となります。お気軽に傍聴においでください。

4日(火) 午前10時	開 会	11日(火) 午前9時30分	厚生常任委員会
6日(木) 午前10時	一般質問	12日(水) 午前9時30分	産業土木常任委員会
7日(金) 午前10時	〃	14日(金) 午前10時	閉 会
10日(月) 午前9時30分	総務教育常任委員会		

日程等は定例会前の議会運営委員会で決定されます。変更される場合がありますのでご了承ください。

議会の動き

7月

- 5日 山梨県後期高齢者医療広域連合議会第1回臨時会
- 11日 県高速道路整備促進期成同盟会通常総会
- 17日 広報編集委員会
- 東八代広域行政事務組合決算審査及び定例監査
- 23日 リニア中央新幹線甲府駅西部沿線地域活性化協議会
- 甲府地区広域行政事務組合議会6月定例会
- 24日 産業土木常任委員会閉会中研究会
- 25日 総務教育常任委員会閉会中研究会
- 厚生常任委員会閉会中研究会
- 29日 議員全員協議会



山梨県市議会議長会(前期)議員合同研修会(アピオ甲府)

8月

- 1日 リニア中央新幹線建設促進山梨県期成同盟会総会
- 2日 議会運営委員会
- 会派代表者会
- 3日 広報編集委員会
- 東八代広域行政事務組合第2回組合議会定例会
- 10日 県市議会議長会前期議員合同研修会
- 14日 与一公まつり
- 15日 一般質問通告調整会議
- 17日 2市1町正副議長事務局会議
- 24日 甲府地区広域行政事務組合議員懇話会
- 26日 総合防災訓練
- 27日 リニア中央新幹線甲府駅西部沿線地域活性化対策協議会の要望活動
- 28日 議会運営委員会
- 会派代表者会

9月

- 4日 第3回定例会開会
- 20日 第3回定例会閉会
- 27日 三郡衛生組合9月定例議会
- 中巨摩地区広域行政事務組合議会9月議会



市民の談話室



西花輪第2
佐野新太郎



中央市に移り住んで

平成2年3月、身延町から旧田富町に移り住み、22年になります。

長男のため身延にも家があり、掃除やらで月に幾度かは通って、地域の行事にもある程度参加させてもらっています。

「ふるさと」、生まれ育ったところにはたくさんの思い出があり、心は離れることはありませんし、そこでの出会いは、今は在住していない人たちも含め、私に多くの力を与え続けてくれています。

今の生活の中でも自治会の行事や、地域のお祭り等で多くの人と接し、私や家族に新たな「ふるさと」を心の中に育てさせていただいています。人は多くの人にお世話になり、自分にできることは積極的に行うということで、心の「ふるさと」を持てると感じます。

中央市は8小中学校全校へのエアコンの設置や、全国の同規模の市において、図書館の貸出数、蔵書数、図書購入額などが日本一と聞いています。教育・文化の充実は本市の重点施策でしょう。大切なものを一人ひとりが育て、豊かな心と「ふるさと」を次世代に伝承していくことが、大事なことではないでしょうか。



大鳥居
中楯 英徳



「里山再生」酒席話

無尽会での一場面…。

「孫がカブト虫を捕りたくて一緒に山へ入るだけんど、クヌギも少なえし、薦葉やこまい竹がびっしりで、ひどいもんだよ」

「俺んとうが子どものころは、よく山で遊んだじゃん、カブト虫もたいへんいたし、クリやアケビもよく採りに行った。今の子どもにも同じ遊びをさしてやりてえじゃん」

「みんなで山の下刈りしてクヌギの苗を植えるけ？」

「そういえばこの間テレビでやってたよ、里山の再生ってやつ。有志が集まって間伐やら植林やら、その間伐材をペレットに加工したり、立ち木で遊具を作って遊んだり、耕作放棄地を田畑に戻して希望者に提供するようなことまでしてたよ。俺んとうにもできそうじゃん」

「できることから始めたらどうで。おんなじ考えの人もけっこういると思うし、少しつつでも有志を増やしていけば、地域や自治体も黙っちゃいんら！」

「まずは、誰が頭になるかだよな？」…。

編集後記

今年の山梨県は真夏日が長く続きました。なんと連続で58日間も続き、山梨県の観測史上最長を記録しました。また雨も少なく乾燥続きで、野菜などの農作物の水かけに追われた人が多かったと思います。そんな中、県外の一部では水不足のため給水制限を実施した自治体がありました。山梨県は水と緑がまだ残されています。おかげで、この自然環境が県内の日々の生活を守っているのかもしれない。

近年、日本の各地で大雨等による災害が発生し、人や物の被害が計り知れません。世界の各地で自然災害が発生し、人の生活に影響を及ぼしています。50年前に比べて「明らかに地球環境が違う」ことを実感します。中央市の「水と緑の自然環境」は非常に貴重

です。「意識して守る」ことが大切ではないでしょうか。

親しめる議会だよりを目指し取り組んでいますが、多く市民の皆さまに読んでいただき、ご意見等いただければ幸いです。

[河西 茂]

議会
編集
委員会
広報
委員会

委員長	河西 茂
副委員長	田中 輝美
委員	木下 友貴 名執 義高
	小池 満男 福田 清美